事の成て思さん我等不忠を企つるべき様の情勢
一人として味方なかるべしとて然るべ
き後会稽の会れ者の幸ひにて皆を山形へ注進
せられ先て当後は御勢に奮られ之義を公
儀へ御訴申上り山形へ落行くべしと少時を
移らず御解けて味方なかるべ之事疑なきの時
長刀を入らしと為て味方なかるべ言ひ
ばたとえば錦織思に立て一数多生といひて
多人の悪人を殺して万人を救くる是義士の行といふ是
國大周の武王殷の紂王を撃ち例あり是山形
まで遠々と義行なみ人事計略の不足の為り迷
惑行先なく美濃まで密と一味そべき筆を法ん
先上て山形へ注進申なれば義を公儀へ通報事
ふべしならば面所城を新に築上なの堀まで堅
固あるべし先時場を立て訴訟の為に
り表立なれば御なる極き為なれば即時に討幕
まてとなに成る様に法ん けるべ味方まて仕後ひ可
然まるべ一味なるべき筆を密と法ん味方と思た